

# 風は東から

To be continued...

公式戦の洗礼を受ける...

インターハイ初戦は受難のスタート！

インターハイ予選初戦 VS久留米西 4-2勝利！！

次は強豪 東大和南戦で冬のTRの真価が問われる！！

インターハイ予選初戦は、前任者の大澤先生率いる久留米西高校との一戦。公式戦初戦ほどのチームも緊張するもの。しかし、このゲームは、東高のホームグラウンドであり、保護者・OB・友人が多く応援に駆けつける中、アドバンテージを得てキックオフしました。



＜東高には公式戦特有の緊張感を撥ね飛ばす強い精神力が必要である！＞

立ち上がりから東高が優位にゲームを進め、チャンスを作るものの公式戦特有の緊張からか詰めが甘く、イージーミスも目立ちました。「公式戦に出場するチームは、負けに来るチームは一つもない！どんなに可能性が低く、前評判が悪くても、望みを捨てずに闘いに来るのが公式戦である。」と子どもたちには話しました。もちろん、久留米西高校の情報は念のために調査をしましたが、こちらの判断で子どもたちには余計なことは伝えずに、この冬のTR成果を出せば結果が付いてくると信じていたので、多くを語らずにそのままゲームに行かせました。

前半、無得点のまま時間が経過していく中で、久留米西高校の子どもたちの「ヤル気スイッチ」を入れてしまったようです。少ないチャンスを活かし勢いよく東高ゴールへ迫ります。GKのファインセーブもあり事なきを得ましたが…。やはり公式戦は何が起きるかわかりません。しかも、ユース年代（高校サッカー）などでは、番狂わせゲームは良くある話です。東高の子どもたちの焦りがベンチにも伝わってきました。しかし、前半は子どもたちを信じてみようとしてコーチングを避けてゲ

ームを見守りました。

前半終了間際にやっと先制し、後半立ち上がりに追加点と**勝利の方程式**のような時間帯でゴールを決めましたが、公式戦には魔物が潜んでいました。その直後にミスから失点、目の覚めるような三点目で突き放しますが、再びミスから失点し、勝利を決定づける流れを引き寄せられません。後半三十分に四点目が決まり相手の足が止まったところでやっと勝利を確信できました。このままタイムアップを迎え、インターハイ予選初戦を**4-2**で勝利しました。

冬の厳しいTRを経て、自信を持って臨んだ初戦ですが、東高サッカー部にとっては公式戦の厳しい洗礼を受けたゲームとなりました。しかし、このゲームを教訓に次の二回戦に繋げていきたいと思えます。

次は**29日(水)**、強豪**東大和南高校**との一戦です。相手は**T3**と**格上のチーム**で、三月に行われたTRMでは大敗しています。ここから先の一戦一戦は山場のゲームばかり。ここから東高の冬のTRの真価が問われます。全力で頑張りたいと思えます！！



<東大和南戦でも、ゴールを決め歓喜の瞬間を何度も見たい！！>



### <After the Game>

いよいよ、明日はインターハイ予選最大の難関である、強豪**東大和南高校**との闘いです。格上相手に**[F-Higashi style]** がどこまで通用するか、楽しみです。

明日も熱い応援をお願いします！会場は昭和公園グラウンドです。